

ぽっかぽか 10月号



朝晩は冷えるようになりましたが、日中はまだ夏のような日になることもあります。気温差があるため、「長袖と半袖」など衣服の調整ができるよう着替えのご準備をお願いします。また、感染症も流行っていますので手洗い・うがいや早寝早起きなど生活習慣を整え、体調には十分気を付けて過ごしましょう。今号では、待ちに待った運動会の特集として、ねらいや見どころなどをたっぷり紹介します。

★運動会のねらい★

①共通の目的の実現に向けて、互いの思いや考えなどを共有し、協力しながら、充実感をもってやり遂げる。

⇒「**協調性**」を育む

②自分の力で行うために考えたり、工夫しながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動する。

⇒「**自立心**」を養う

③心と体を十分に動かし、チームで競い合うことも楽しむ。

⇒「**健康な心と体**」を向上させる

★運動会での役割★

年長さんは運動会にただ参加するだけではなく、運動会づくりにも挑戦します。「はじめのことば」「たいそう」「おわりのことば」の3つの係にそれぞれ分かれ、保育園の代表として運動会に携わります。グループ分けや言葉決め、どのようにしたらかっこいいお手本になるかなど子どもたちが考えました。

★おねがい★

- ・当日の服装は、運動会Tシャツと半ズボン（黒系）と履きなれた運動靴です。
- ・ソーラン節でハチマキを巻きますので、髪を結ぶお子さんは、スムーズに巻けるようご協力をお願いします。

★種目紹介★

【よさこいソーラン】

あおぞら保育園で代々年長が担当するソーラン節。

今年のらいおん組の子どもたちも強い「憧れ」があり、練習にとっても意欲的でした。なんと初回の練習で振付や隊形移動もほぼ完璧にできるほど！また、やる気が伝わる元気な掛け声には大人も驚かせられました。はじめは、意味がわからずに「ラーメン」「ソーメン」と言っている子もいましたが、北海道のニシン漁が元になっていることを知ると声を揃えて「ヤーレンソーラン」をいえるようになりました。

真剣な表情と心をひとつに頑張るその勇姿をぜひお楽しみに!!

【縄跳び体操】

「縄跳びが跳べるようになった」喜びを表現します。

縄跳び体操は、縄跳びを使った体操ではなく、縄跳びが跳べるようになる体操です。上肢・下肢・体幹にアプローチしたその動きは、縄跳びを跳ぶのに必要な体の動かし方がわかります。また、流れる音楽には、歌がなくほとんど音のみで構成させています。子どもたちはメロディーの変化を聞きながら12もの行程で体操を披露します。もちろん縄跳びが跳べるようになるためには、一人ひとり乗り越える壁が違います。今までの練習で、自分がどこで躓きどのように克服していくのかを子どもたち自身が考え、諦めずに励んできました。スモールステップから自信をつけていき跳べるようになるとさらに難しい跳び方に挑戦する姿も多かったです。

序盤と終盤で「自由跳び」をする場面があります。お子さんの努力の結晶をぜひ目に焼き付けて下さい!

【リレー】

練習中から悔し泣きをする子がいるほど大白熱のリレーです。負けることも心の栄養。一人では得られない体験を仲間と一緒に手に入れることで、相手がいるからできるということに気づき、相手を思いやる気持ちや次は頑張るぞという調整力を身につけていきます。

保育園最後の運動会、最後の競技です。たくさんの応援をよろしくお願いします!!